

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 宝樹	
施設名	つぼみの森第二保育園	
報告者（役職）	大野 素子（園長）	
住所・連絡先	千葉県市原市姉崎 2611 番	
		0436(67)0017
	E-mail	tsubominomori2@email.plala.or.jp

○タイトル（保育計画）

生活発表会

○主な助成備品

木琴、鉄琴、タンバリン、カスタネット、トライアングル、大太鼓、小太鼓、シンバル、ウインドチャイム、ギロ、マラカス、ウッドブロック等

1. 保育計画策定の目的

本園は、民間の認可保育園として、2018年4月1日に千葉県市原市に開園し、つぼみの森保育園（法人1か所目の保育園）と同様に、日々の活動を通して園児たちのやる気やできる力を伸ばすことに尽力しています。

その一つに、3歳～5歳児が毎日20分程度行う音楽活動があります。絶対音感（聴音）が身につく音遊びやリズム遊びと並行して、各自ピアノを持ち、音楽担当の先生と楽しく練習しています。音楽は子どもたちの情操を豊かにし、楽器は、表現力や創造性を育成するのに大変有効だと言われます。

開園から数ヶ月過ぎたころだったでしょうか、園児たちはとても楽しそうにピアノの練習をしたり、皆で声を合わせて歌うことができるようになり、とても上手になってきました。上手になってきた子どもたちは、色々な人に聞いてほしいと思うようになりました。そこで、ピアノだけでなく、まだ見たことのない様々な楽器から奏でられる実際の音を体感し、もっともっと音楽の楽しさや美しさ、音のおもしろさに触れられるよう、できる限り本物の楽器や音をこの幼児たちの耳に伝えていきたいと思うようになりました。

子どもたちが様々な楽器に触れることで、情操豊かに育ち、音楽や絵画など芸術に対して素直に感動でき、理解力が育ち、人の気持ちや感情に対してもきちんと受け止められるよう、表現力や創造性を育成できることは本当に素晴らしいことです。ピアノに限らず、様々な楽器の演奏や、共に歌うことで、お友達と協力して一つの曲を完成させ

ていく過程の大切さを学び、その楽しさや喜びを共に味わって成長してほしいと願っております。

大人には計り知れない意欲や関心を持った子どもたちが、第一生命財団からご寄付いただいた、たくさんの楽器を用いて、ご家族や来賓の方々の前で自信をもって楽器を演奏し、心の力となって成長していけるよう、生活発表会を企画しました。

2. 具体的な実施内容

<生活発表会>

2019年2月15日(金)

この日、3歳児～5歳児までの園児たちの普段の生活の様子や楽器を、保護者や地域の方々にご披露させていただきました。掲載写真は、5歳児クラスの一部です。

はじめて目にする楽器を演奏し、お友達と気持ちを合わせて一つの曲を作り上げることは、この年齢の子どもたちにとって、とても大変な作業です。しかし、驚いたことに、子どもたちはその楽しさに目覚め、日々の練習を自主的に行うようになっていました。

そして迎えた本番当日、緊張の面持ちでステージに向かう姿は、これまでより一回りお兄さんお姉さんになったように感じました。



【曲目】

♪ 崖の上のポニョ

♪ となりのトトロ



～大太鼓(バスドラム)～

大きな音で、しっかりとリズムをとりました。

～スネアドラム～

子どもたちに大人気で、皆がやりたい憧れの楽器です。



～シンバル～

意外に重いシンバルですが、しっかり握って出番を待ち、「パ～ン！」よく頑張りました。

～タンバリン～

楽しくリズムをきざみます。



～トライアングル～

自分の出番は今か今かとソワソワ。

～鈴～

持ち方、鳴らし方も習い、カッコよく揃いました。



～ウィンドチャイム～

かなり緊張しましたが、一気にきれいな音を出せました。



～木琴・鉄琴～

木琴・鉄琴を叩いて、それぞれ違うメロディを一緒に合わせました。
とてもよく息が合っていました。

3. その成果と評価

生活発表会での合奏を通して、子どもたちは様々な楽器の演奏方法を学び、音を楽しみました、それは、技術の習得だけでなく、新しいことに挑戦し、あきらめずに最後までやり抜くという貴重な経験を得ることにもなりました。

この経験が自信となって、園児たちの今後に良い影響をもたらしてくれると確信しています。

また、「自分だけが頑張る」「練習しないお友達が一人でもいる」では、聞く人も演奏する人も「嬉しい気持ちになった、感動した、良かった」と思える曲にはなりません。子どもたちは、誰かが失敗すると立ち止まり、もう一度やってみようと励まし合って、何度も練習を繰り返していました。その甲斐あって、当日は素晴らしい演奏を皆様にご披露することができました。

色々なお友達と協力して一つのものを作り上げるのは大変ですが、「自分一人の努力では達成できないようなことも皆で力を合わせればできる」ということを体感したようです。他のお友達の良いところを見つけて評価する、そんな姿も見られるようになりました。

4. 今後の課題と展望

今回は、「つぼみの森第二保育園」の一大イベントである「生活発表会」という大舞台で、第一生命財団からご寄付いただいた楽器を使って大勢の前で演奏することができました。園児たちは、どの楽器にも興味を示し、これを使いたい、あれを使ったらどんな音が出るのかな、と目を輝かせていました。楽器演奏の上達も驚くほどでしたが、園児たちの性格の変化や成長もたくさん見られました。何より、楽器を使って楽しく演奏する子どもたちや、ご家族の皆様が一体となって音楽を楽しみ、涙があふれるほど感動してくださったご家族からは、感謝のお言葉をいただきました。

しかし、生活発表会に参加できなかった2歳児までの乳幼児、生活発表会で望む楽器を担当できなかった園児など、今後は、全園児が様々な楽器と触れ合う機会を増やしていきたいと考えております。ボランティアや地域消防団による演奏会も予定しており、園児たちの音楽への興味をより一層引き出すと共に、子どもたちの明るい未来のために音楽を通して情操教育に力を入れていきたいと思っております。

これからも職員一同、保育・教育に精進して、子どもたちの心の成長を育んでまいります。いただいた楽器は、子どもたちと一緒に末永く大切に使用して参ります。

本当にありがとうございました。

以上